

Contents ●第45期活動ダイジェスト ●トリアスロン実行委員会各部長決定
●第5回お地蔵さまフェスティバルグループリーダー抱負 ●卒会者より愛を込めて ●道なき道を

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 山口尚文 ◆編集責任者/担当 副会長 西田裕志 ◆制作・編集 第45期広報委員会/委員長 渡邊公平
新型コロナウイルスの影響により、特別号として編集しております。

7月例会～2月例会を振り返って

第45期活動ダイジェスト

創立45周年記念基調講演 元サッカー日本代表監督 西野明氏/令和元年度通常総会・卒会式/中央会創立45周年記念式典・祝賀会
令和元年7月16日(火) ANAクラウンプラザホテル米子



基調講演は元サッカー日本代表監督の西野明氏に自身の経験に基づいたチームマネジメントについてご講演頂き、通常総会・卒会式では新たに8名の卒会者をお見送りした。記念式典・祝賀会は多くのご来賓とOB会員をお招きして盛大に開催された。

8月納涼例会開催 担当：第45期正副委員長、会計担当理事
令和元年8月19日(月) 松涛園



45周年記念事業やトリアスロン等の事業に携わった会員を労い、また各委員会から年間方針発表を行い今後の活動に弾みをつけることを目的として開催した。

9月例会開催「みんなの空想地図～地図から読み解く街～」 担当：地域ビジョン委員会
令和元年9月17日(火) 米子コンベンションセンターBIGSHIP



空想地図作家の今和泉隆行氏を講師としてお招きした。空想地図ワークショップという新しい手法を通して、客観的に米子の街づくりを考える例会となった。

10月例会開催「企業の未来を見据えた事業計画」 担当：政治経営委員会
令和元年10月15日(火) 米子市福祉保健センター ふれあいの里



株式会社MAP経営の山脇渉氏を講師としてお招きし、事業計画の立案から具体的なPDC Aサイクルについてご講演頂いた。

11月例会開催「お地蔵さまプロジェクト レクリエーション例会」 担当：継続準備委員会
令和元年11月10日(日) 大山寺参道



11月例会は会員ご家族をお招きして開催した。伯耆・伝承隊のお二人に大山と地蔵にまつわる紙芝居を披露して頂き、笠作りやステージパネル作りの後、参道のお地蔵さま清掃を行った。

12月例会開催「組織を結果に導く手法（原田メソッド）」 担当：広報委員会

令和元年12月16日(月) 米子市観光センター



県立米子東高等学校の紙本庸由氏を講師としてお招きし、原田メソッドを用いて目標達成の為にどの様に考え行動するのかご講演頂いた。

1月新年例会開催「新年賀詞交換歓会」 担当：総務委員会

令和2年1月15日(水) スマイルホテル米子



新年例会は多くのご来賓とOB会員をお招きして開催した。大勢の交流が行われる中、アトラクションの日本舞踊で華を添え、新入会員がラグビーニュージーランド代表のハカを力強く披露する等、盛大に開催された。

2月例会開催「妄想しよう!!みんなでつくるローカルビジネス～地域の魅力の磨き方～」 担当：地域ビジョン委員会

令和2年2月17日(月) ANAクラウンプラザホテル米子



アソビュー株式会社の内田有映氏を講師としてお招きした。第1部では地域の観光資源化についてご講演頂き、第2部ではテーブル毎でワークショップを行い西部地区の観光資源化について様々なアイデアが湧き上がった。

4月例会に向けて

政治経営委員会 松田順次委員長

(合同印刷㈱) 取締役社長室室長



4月例会を担当します政治経営委員会の松田です。当初3月例会を担当することになっていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたので4月例会を担当させていただきます。現在も新型コロナウイルスの感染が拡大を続けており、4月例会は内容を映像配信することで対応させていただきます。

4月例会では、「経営を進化させる問題解決力～ファンクショナル・アプローチの思考法～」について会員の皆様に知っていただきたいと思えます。「何のため?」「誰のため?」という「目的」や「機能」の視点から考えるファンクショナル・アプローチの思考法により、今までとは違った問題解決策を導き出すきっかけになればと例会を企画しました。

問題解決だけでなく、日常の業務や人材育成、日々の生活など様々な場面でも活用することのできる思考法ですので、皆様の今後につながる例会となるよう準備しています。ぜひ配信される映像を見ていただければと思います。宜しくお願いします。

第5回お地蔵さまフェスティバルグループリーダー抱負

広報・製作展示部 部長 山内 正樹 (㈱サンユービルド 専務取締役)

広報・製作展示部部長の山内です。

今回のフェスティバルを幅広く周知していただくための広報活動、第1回から継続して開催している「お地蔵さま作品展」の開催が主な活動です。チラシの配布、保育園への作品募集と外部の方との関わりが多い活動となりますので、しっかりと足を使いフェスティバルを盛り上げると共に、西部青年中央会の存在もアピールしていきます。

またフェスティバル当日は大山寺参道周辺にて作品展を開催し、さらには各賞を設け表彰式も開催する予定としています。子供達の自由な発想で描かれる個性豊かな作品の数々は一見の価値あります。

5月17日は「第5回大山お地蔵さまフェスティバル」にぜひお越しください!



集客・にぎわい部 部長 古都 剛志 (㈱米子タイヤサービス 取締役)

第5回大山お地蔵さまフェスティバル集客・にぎわい部部長の古都です。

今回のフェスティバルはいつものフェスティバルと違い天候の問題に加えてコロナウイルスとも戦わなければならないようです。今まで積み重ねてきた経験を基に会員皆様の英知を集結してこの難局を乗り越えて行かなければと思います。今年の集客・にぎわい部は今まで以上にフェスティバルに訪れた方に楽しんでいただく為に様々な企画を立案しています。会員皆様で一丸となって盛り上げて行きましょう。



トライアスロン実行委員会各部部長決定

AS部 部長 足立 駿 (足立ふとん店 米子店 店長)

この度、AS部長を拝命させていただきました足立駿です。皆様、よろしくお願い致します。私にとりましては8回目の皆生トライアスロンとなりますが入会以来、ずっとAS部畑で育てて頂きました。選手に一番近いところでのトライアスロン運営に携わることができ大変嬉しく思います。大会当日、AS部は多くの一般参加者と共に運営していきます。会員のご家族をはじめ会員企業の従業員及び地域住民の皆様との親睦を深めつつ、西部青年中央会がどのような意識を持ち参加しているかを表現し、第40回の記念大会を成功に導くべく力を合わせ活動していきたいと思っています。最後にAS部の部員をはじめ、中央会会員の皆様には是非とも暖かいご支援とご協力をお願い致します。



マラソン部 部長 田中健雄 (司法書士法人 田中事務所 代表社員)

このたび第40回全日本トライアスロン皆生大会のマラソン部長を拝命させていただきましたが、今年で3回目の部長となります。これまでの経験をしっかり発揮し、次に繋げるようにという指令を頂いたと受け止め、任務を全うしていきたいです。トライアスロンのボランティア活動は、「社会に奉仕し、お互いの友愛を深める」という中央会の綱領を文字通り実践できるイベントですが、その成功には会員皆様のお力添えが必要不可欠です。今年は40回の記念大会となります。この執筆時はコロナ関連の話ばかりですが、山陰以外にも情報が発信されるこの大会を通じて、地域の経済発展の一翼を担えるよう、皆様のご協力を頂きながら取り組んでいきたいと思っています。



ボランティア部 部長 濱田 修 (株ホクシン 代表取締役社長)

5年ぶり、3度目のボランティア部長をすることになりました、濱田です。よろしくお願いします。昨今の頃は、まさかもう一度部長をすることになるとは夢にも思っていませんでしたが、40回の記念大会というタイミングでの拝命ですので、名誉なことと捉え、精一杯活動していこうと思います。しかし、部の活動の中心に本格的に携わることが久々なことに加え、前回務めた時よりも年齢を重ね、色々と衰えてきていると思うので、その辺り、どうか部員の皆様にフォローをいただきたいと思ひますし、部内外の皆様をお願いをすることも多々あると思ひますが、40回大会の次に繋がるよう頑張っていく所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。



卒会者より愛を込めて

濱田 修 (株ホクシン 代表取締役社長)



ラストイヤーになると心境が変わると聞きますが、私においては、そんな年になったかと思うものの、感傷的な感情はなく、フラットな普段通りの心持ちです。在籍が長い為、当たり前毎月あった予定が無くなる実感がないのかもしれませんが、それはさておき、30歳で入会した後、立ち振る舞い、ものの考え方、多くを学ばせてもらった

と思います。

中央会はやはり委員会が肝だと思ひます。色々なカラーの委員会があると思ひますが、一年の活動をしっかり遂げようとする委員長姿を見て、委員会内のモチベーションが上がり、また、しっかりと活動をするからこそ懇親会も盛り上がり、連帯感ができると思ひます。オンでアクセルを踏み込み、オフでもまたアクセルを踏み込むのが中央会の委員会活動かなど…。また、トライアスロンのボランティアも苦しいけど、良い経験をしたと思ひます。公的でも私的なことでも、苦勞して達成することで言葉では説明できない何か自己に得られると思ひますし、これは全ての活動に通ずると思ひます。

冒頭にフラットな心持ちと書きましたが、もう委員会がないのだと思うと、少しだけ寂しくなりました。あと3カ月程残っていますので最後まで宜しくお願いします。

秋里武信 (水道屋あきさと 代表)



平成22年1月の新年例会で、第35期増井会長よりバッジをいただいてから10年という月日が経ちました。いよいよハンサムの原稿依頼もこれで最後と、嬉しい半面、やはりどこかに寂しさがあります。

卒会者からのメッセージということでは何を書こうかと悩んでいたのですが、ふと、入会して初めて書いたハンサムの原稿を見つけてしまいました。“今の自分に何ができるかわかりませんが、いろいろな方々との交流の中で何かできるように頑張ります！”まったく記憶に残ってなかったのですが、中央会生活を振り返ってみると、『今の自分に何ができるか？』終始そればかり考え行動していた10年だったように思ひます。新入会員の時は、とにかく覚えてもらおうと必死でしたし、役がつけばその役を果たすため過剰に熱くもなりました。時として方向性を間違え、お叱りを受けることも多々ありましたが、行動と失敗を繰り返す年月を重ねていく中に、新入会員の時には想像もできなかった貴重な学びが多くありましたが、自分自身、入会当時と比べると少しは成長できたのではないかと思ひます。

なので、あえてメッセージとして贈るのであれば『やるか？ やらないか？』冷たいようですが愛を込めました。だって私たちの時代は『やれ！』の一言でしたから…。

会長連載

道なき道を

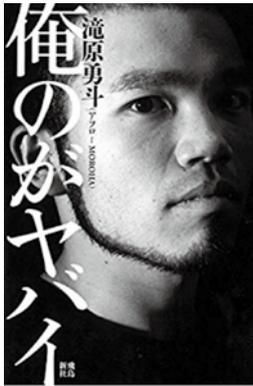
第45期 会長 山口尚文

皆さんもご存じの通り、新型コロナウイルスが世界中に猛威を振るっており、その影響を少なからず受けている事と思います。当会も歴史上はじめて例会を中止するという判断をいたしました。そして、現在のような状況が長期に及ぶという報道がなされています。当会は、今期のスローガンを「考動」、活動テーマを「僕らの前に道はない 僕らの後ろに道はできる」と掲げ活動してまいりました。前例のない事態を経験している今だからこそ、あらゆる方法の模索と、冷静な判断が求められています。皆様方にご相談させていただくこともあると思います。何卒、ご指導ご鞭撻を賜ります様よろしくお願ひ申し上げます。



考読 ～おすすめ書籍の紹介～

高岩 雄一(有いけまつ環境 代表取締役)



「俺のガヤバイ」この鋭い言葉は、書籍のタイトルであり、著者が所属するMOROHAというラップユニットの楽曲名である。ラップユニットというが、私は新ジャンルにカテゴライズしている。

誰も人間は自分の弱い心と戦い続けているが、MCアフロは、逃げたいときに言い訳をさせない。言い訳を思いつこうとした瞬間、裸にされ、覚悟させる。気付いていても言葉にできない感謝を思い出させる。

聴けば恩学、さらに考読。

myブッシュジョブ!!

川原聡司

(米子瓦斯(株) 施設管理部

維持グループ 副グループ長)



当社は、1930年の創業以来米子市を中心とした鳥取県西部地域においてガスの供給を通じて、お客様の安心・安全を守り、より豊かな暮らしの実現に貢献することを目指して努力をしています。

現在では家庭用、工業用、医療、官公庁などの幅広い分野において、ガスをご利用頂いております「天然ガス」は環境負荷の低いクリーンなエネルギーです。石油や石炭に比べ、地球温暖化につながる二酸化炭素や窒素酸化物の発生量も非常に少なくなっており環境性と将来性を兼ね備えたガスを都市ガスとしてお届けしています。また、都市ガスを供給できない地域の皆様には、「LPガス」をご利用いただき、鳥取県西部の広範囲にわたって調理用燃料はもちろん、給湯やガス空調など様々な用途にご利用頂いております。また、当社は2016年より電力小売事業へも参入いたしました。

当社には、インフラ業ならではの業務として、各お客様への点検訪問や道路に埋設されたガス管の維持・点検、古いガス管の更新等の様々な業務があります。私が現在担当しているのは、地中に埋設されているガス管の維持管理業務が中心です。ガスは危険物であり生活に欠かせないエネルギーであることを自覚し日々努力を行っています。

myブッシュジョブ!!

佐々木 崇

(株鳥取銀行 住吉支店 支店長)



鳥取銀行は昭和24年に創立し、昨年10月に70周年を迎えました。鳥取県内に本店を置く唯一の地方銀行として、鳥取県内に53ヶ店、島根・岡山・広島・大阪・東京など県外に12ヶ店の計65ヶ店(店舗内店舗を含む)を展開し、約700人の職員が在籍しています。

経営理念を「地域社会への貢献と健全経営」として掲げ、地域経済の発展と共に成長し、今日の基盤を築き上げてまいりました。現在は「地

元への積極的な資金供給による地域経済の活性化」、「本業支援とコンサルティングを通じたお客さま本位の業務運営」という2つの基本方針のもと、「未来への変革に挑み、お客さま・地域との共通価値を創造する銀行」を目指しています。

私の所属する住吉支店は、昭和47年に開店して以来、地域のお客さまに長年ご愛顧いただき、現在は8名体制で営業しています。支店長としての私のモットーは「感謝の気持ちを忘れない」こと。地域の皆様のご支援や支店行員みんなの協力のもと、地域のために役立つことをしたい、そう常に考え行動しています。地域のお客さまにより必要とされる支店を目指し、お客さま目線に立った幅広いご提案、また支店行員の人材育成にも取り組んでまいります。

4月役員会報告

令和2年4月1日(水)米子市公会堂 集会所にて4月役員会が開催されました。議題は以下の通りです。

- ・4月例会開催の件
- ・次年度役員 指名推薦について上程の件
- ・その他

※なお、詳細については各委員長までご確認ください。

編集後記

新たな季節、新たな出会い、新たな時代・・・新しいことは刺激的で良いと思う反面、今回は少し刺激が強すぎる。故きを温ねるのが良いのか、さらに最先端を求めるか。目まぐるしい時代、もう少したばこしながら生きたい。

(広報委員会 長谷川)